



## もにす認定おめでとうございます！



認定通知書交付の様子

左から (有) エス・ケイ・フーズ 代表取締役 中村 伸一郎様 長崎労働局長 小城 英樹

令和5年4月20日、長崎労働局は、障害者雇用促進法に基づく「もにす認定企業」として、有限会社エス・ケイ・フーズに対する認定通知書交付式を執り行いました。

長崎労働局は、もにす認定企業を積極的に応援しています。

### (有) エス・ケイ・フーズ 代表取締役 中村様より

この度は、もにす認定に対して、ご尽力ご協力いただきまして、ありがとうございました。障害者雇用を促進してきて何十年にもなりますが、今まで障害を持つ方を特別扱いはしたことはなく、いつもみんな同じように接してきました。

ただ、少しでも配慮が必要なのかもしれませんが、私達にとっては普通。今後私達の活動が、市内、県内に広がって欲しいので、認定を受けて終わりではなく、今後ロールモデルとして尽力させていただきたいと思っています。

#### Q. 最初に障害のある方を雇用された経緯は何でしょうか？

マクドナルドの店舗運営を弊社がするようになったとき、直営店舗時代から働いている障害者が、バックヤードの仕事から、調理の仕事まで出来るようになったのを見て、すごく衝撃を受けました。年月はかかっているけれど、きちんと育てて教えれば、こんなに仕事の幅が広がるんだと思い、障害者は雇えないと思っていた自分の中の差別に気がつきました。そこから長崎市内の特別支援学校を全部回って雇用し始めたのがきっかけです。

#### Q. 現在の雇用環境を作り上げるまでに、最も工夫された点はなんでしょうか？

弊社で働いている方は年齢の幅も広く多様で、障害者もそこにうまく溶け込んでいます。お母さんの年齢の方々が面倒見てくださることが多いですね。店舗の店長ともタッグを組み、「皆で一緒にやっ払いこう」と自分がリーダーシップを持ってやれば必然的にみんな協力してくれると思っています。

また、相手の興味のあることに共感できるよう心がけていて、話をするきっかけを作るようにしています。

Q. 障害のある方を雇用するに当たって、苦勞されたことなどはありますか？

いろんな事が起こるが、起こって当たり前。苦勞とは思わないんですよ。私達がそう言う感じなので、スタッフも同じだと思う。何か起こった時に「こうした方がいいんじゃない？」とスタッフに教えると、次に同じようなことが起こっても対処出来るので、彼らと接する事で一緒に育っていると思っています。

Q. 障害のある方を雇用していることで、企業にとってのプラス面はどのようなことがありますか？

彼らと接することで、指導の見直しとかこちらが気付かされる事が多く、逆に学びが多い。結局、私達が一番成長出来ると思っています。



Q. 障害者従業員の配属先はどのように決定されているのですか？

まずは一通り全部やってもらいます。その中で適正をみて考えていきます。始めからこれは無理だろうとか決めつけしないで、店長とも相談しながら判断しています。

Q. 授業員同士の勉強会や交流会などありますか？

12月には店舗の全体ミーティングと懇親会のためにボーリング大会をやったり等いろいろしています。いかに店に来るのを楽しいと思ってもらえるか、考えています。



ボーリング大会の様子



お茶会の様子

Q. 今回の認定についてどのように感じておられますか。また、どのようにPRし、認定マークをどのように活用したいと考えていらっしゃいますか。

障害者雇用の周知をしたいと改めて思いました。障害者の方々が働きたいと思ってくれる企業でありたい。

まずはホームページに載せ、SNSの発信もしていきたい。私達がもにす認定したことを皆さんにアピールしていきながら、もっと障害者が雇用されるよう私達に出来る事をしていきたいと思っております。